

～琵琶湖総合開発事業における治水計画の**キーポイント**とは？～

琵琶湖河川事務所



- 今現在の琵琶湖の治水について、**キーポイント**となる琵琶湖総合開発事業を改めてよく知るために、『近畿河川技術伝承会』の方を講師に招き、「琵琶湖の治水計画について」及び「琵琶湖総合開発事業」について講義を頂きました。
- 講義後には、意見交換を行い、滋賀県、水資源機構、琵琶湖河川事務所各々が、日頃抱えている疑問等について、諸先輩の貴重な意見を聞く事が出来ました。

○日時：平成30年11月19日（月）14:30～17:00
 ○場所：ウォーターステーション琵琶 2階
 ○主催：琵琶湖河川事務所
 ○参加者：61名

- ・近畿地方整備局 17名
 淀川河川事務所、琵琶湖河川事務所
- ・滋賀県 29名
 総合政策部、土木交通部、琵琶湖環境部
 南部土木事務所
- ・水資源機構 13名
 琵琶湖開発総合管理所
- ・近畿河川技術伝承会 2名（講師）

河川
技術
伝承

講師：近畿河川技術伝承会



藤村 正純 氏 今井 範雄 氏

(元 河川部 地域河川調整官)

(元 河川部 河川情報管理官)

質問・疑問及び意見交換の状況



○参加者の感想

- ・琵琶湖の過去の歴史を聞く事が出来て勉強になりました。今後の業務に役立てていければと思います。
- ・琵琶湖水位の運用について考える良い機会となった。琵琶湖総合開発という名前は知っていたが、どのような考え方に基づいて整備が行われたかについて勉強になった。
- ・琵琶湖の利水について、需要が減っている中でも利水容量は変更せずにいるのは、費用負担割合の問題はあるが、もったいないと思った。



来年2019年は、
野洲川放水路
通水40周年！

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 調査課
 〒520-2279 大津市黒津4-5-1 TEL 077-546-0844

